

Living the Lotus

8
2022

VOL. 203

Buddhism in Everyday Life

開祖随感

しん でん 心田を耕す

松下幸之助さんは、どんな人の話でも心から「ほう、そうですか」とうなずいて耳を傾ける方でしたが、年を重ねた豊かな経験の上に、心の伸びやかさ、柔らかさを具えた人を見ると、惚れぼれとさせられます。

お釈迦さまが托鉢たくはつの途中、ある農耕バラモンの家の前に立つと、主あるじのバラモンが「私は田を耕し、種をまいて食を得ている。あなたも田を耕し種をまいて、食を得たらどうか」と言います。すると、お釈迦さまは「私も耕し、種をまいて食を得ている」と答えられます。バラモンは、「だが、われらはあなたが田を耕し、種をまいているのを見たことがない」と、さらに言いつのりしますが、それに対してお釈迦さまは、「私は人の心を耕し、信という種をまいている」と答えられるのです。

私たちにとっていちばん大事なものは、いつも心を耕し続けていることなのですね。すると、いつも柔らかな心で、まわりを受け入れることができます。人の話に素直に耳を傾けられるようになります。それで自然に人が集まってきてくれるのです。

聞き上手こそ人間関係づくりの決め手とありますが、とりわけ熟年を迎えた人にとって、心の柔らかさは宝物です。

『開祖随感』10, P. 230-231)

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生きかし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus 2022年8月号 (Vol.203)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1

普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 赤川恵一

編集チーフ: ジグジドホロル・ゲレルトヤー

校閲者: 小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

ほんとうの自分を生きる ——精進②

立正佼成会会長 庭野日鏡



人はみな球体上の点

「ここに一つの球体きゅうたいがあるとします。その表面に点を打つ。我々は、この球体に打った点おもりみたいなものです」。禅僧にして剣の達人でもあった大森曹玄師そうげんの言葉です。この言葉は「球はどこに点を打っても、そこが中心です。中心でない点の一つもありません。何億打っても……」とつづき、しかも「球としては一つ」と師は述べます。何やら不思議な表現ですが、これは、私たちの真実の姿を示しています。

ここでいう「球」を地球と見ればわかりやすいと思います。地表に立つ私たち一人ひとは、それぞれが地球の中心に立つ絶対の存在です。ただその個人も、太陽や水や空気を含むすべてのものごとと、自分以外の人によって生かされていますから、その意味では全体で一つといえます。

この見方は、宇宙全体に広げても、また地域社会や家庭という小さな集合体においても一緒です。お父さんが中心で子どもは端はしということではなく、一人ひとは唯一無二ゆいいつむにの絶対といえる存在であり、その個々人は家族や地域の人たちとのご縁のなかで、生かされあって存在しています。

釈尊しゃくそんがいわれたとされる「天上天下唯我独尊てんじょうてんげゆいがどくそん」という言葉は、このことをさします。大きな全体をともに生きる、絶対的な一人ひとり。それが「唯我れ独り尊しただわれひとどくと」の意味です。一方で、この宇宙に住む一人の宇宙人、地球人として、だれもが「一つの『いのち』をともに生きる兄弟姉妹」というのが、仏教で教える私たちの真実まことの相なのです。

六波羅蜜ろくはらみつの精進しゅうじんは、そのように生かされていることに感謝し、「おかげさま」の心を忘れないための実践です。その実践をとおして、自分を尊び愛するように、人の悲しみを

ともに愛しみ、苦しむ人にいつでも手を差しのべられる人になるのが、精進することの深意だと私は思うのです。

「おかげさま」をさがそう

先月の本誌で「人のためになる善いこと」「信仰者として当たり前のこと」を、当たり前に行なうのが精進といいましたが、感謝に根ざしてそうした実践をつづけるには、ふだんいかに「有り難いこと」に気づけるかが重要です。

多くの方は、自分のことを完全な人間だとは思っていないと思います。だからこそ「精進させていただこう」と学びつづけるわけですが、精進の大切さに気づけたのは、仏法に出会えたからです。ただ現実には、家族や親戚、友人や知人などのサンガ、法友のおかげで教えを学ぶことができた私たちですから、まずはまわりの人に感謝し、法友と切磋琢磨するなかで、小さな「ありがとう」を見つけて、その感謝の思いを行動に移してみてもどうでしょうか。

また、「有り難いこと」に気づかされるといえば、本会で行なうサンガの体験説法は、その宝庫です。苦悩から解放されたいと願って結縁した人が、仏の教えによって、苦しみの原因は自分の思い違いや誤ったものの見方にあったと気づかされ、人生が一変する——そのような体験を包み隠さずに話すそれは、いわば生かされていることを忘れかけていた人が、「何もかもが有り難いことばかりだった」と気づいて感謝の生き方に転換する、生きた信仰の証です。

教えに照らして自らの来し方や心のもち方を省みるとき、私たちは初めてたくさんの「おかげさま」に気づき、生かされどおしの自分に出会うのです。その意味で体験説法は、ほんとうの自分を生きるための大切な精進の一つといえ、その「喜びの体験は、聞く人の心に喜びを芽生えさせる」と開祖さまがいうように、自分の喜びが法の友の喜びへと展開する、慈愛に満ちた利他行でもあるのです。

みんなが安心して眠りにつける世界の実現を祈り、願い、私たちは精進してまいります。

(『佼成』2022年8月号)

Spiritual Journey

人生、むだなことはひとつもない

スリランカ教会教会長

鈴木啓修

この体験説法は、2022年6月18日にオンラインで行なわれた「南アジア布教リーダー教育」で発表されたものです。

みなさまよろしくお願ひいたします。

私はスリランカ教会教会長の鈴木啓修です。スリランカ教会にお役をいただき、今年で四年目になります。

私は鈴木家の四人兄妹の長男として生んでいただきました。我が家は祖父母の代から熱心な佼成会の信者で、私たち兄妹は佼成会三代目になります。両親はともに朝夕のご供養を欠かしたことがなく、ご供養が子守唄代わりだったとよく聞かされたものでした。

母は教会で聞いた話を子どもたちによく話してくれました。今も心に残る母の言葉があります。小学生の頃、夏が間近に迫ったある朝、母は庭の池に蓮の花が咲いているのを見つけると、「池に蓮の花が咲いているね。あれはどこから咲いているかわかるかい？泥の中から咲いているんだよ。あなたたちが大人になる頃には、この世の中はもっと乱れているかもしれない。でもあなたたちは小さくてもいいからきれいな花を咲かせなさい」と、幼い私たち兄妹四人にもわかるように話してくれました。今思えば、「世のため人のために尽くす」という菩薩行の心を伝えたかったのかもしれませんが。この言葉は私の心の奥に刻まれ、私の信仰の原点になっています。

「お父さんの収入だけで家族六人が生活していけるのもご法のおかげさまだよ」というのが母の口癖でした。信仰はあるけれども、決して裕福ではなかった我が家。父は自営業で、自宅隣の小さな工場で燃系の仕事をしながらなんとか生計を立てていました。

中学生の頃のある日、二千円の集金がありました。その前夜、明日持っていく金額がなく鈴木家は大騒ぎ！家じゅうの小銭をかき集め、なんとか金額を揃えて当日学校に持っていきました。しかし、その日の集金の係はいつも私をからかってくる男子生徒。渋々手渡すと、ジャラジャラと袋から小銭を机にひろげ、面倒臭そうに数え始めます。私もその場に立ち会っていましたが、その子がいきなりクラス中に聞こえるような大声で、「鈴木君、百円足りませ〜ん。千九百円しかないよ〜」と言い、私は顔から火が出るくらい恥ずかしい思いをさせられました。結局はその子が一時的に隠したいたずらだったのですが、「なんでこんな嫌がらせをされるのか？」と、悔しい思いでいっぱいでした。その思いの矛先は父に向けられ、「あんな小さな工場だから、うちは貧乏なんだ。どうしてこんな思いをしなくちゃいけないんだ！」と、父を恨む心が湧きました。しかし、一方で私



オンラインで説法する鈴木教会長

は、毎日朝早くから夜遅くまで汗を流して働く父の姿を見ていました。父は後ろ姿で「とにかく働け。稼ぎの多い、少ないではなく、一生懸命に働きなさい」と、私に教えてくれていたように思います。口惜しさと父の姿が交錯して陰で涙していました。

そんななかでも、私は家族の協力のおかげさまで大学を無事卒業し、社会人となりました。

しかし仏さまはここから生きることの厳しさを通して、私に本当の生き方に目覚める体験をさせてくれたのです。

一人が何社からも内定をもらうような好景気の就職活動のなか、私は大阪の貿易会社に就職しました。しかし、1～2年すると景気に陰りが見え始め、わが社の業績も怪しくなってきました。取引会社への支払いの遅れや、社員の給料の減額など、今後の生活を不安に思わざるをえない状況が見え隠れしてきました。業績の改善は見込めず、私は見切りをつけ実家のある浜松に帰ることにしました。家族を養っていくためにも早く職を得ようと、青果市場の卸売りの仕事に就きました。

しかし、仕事には就いたものの、今一つ気持ちは晴れませんでした。貿易会社の仕事とは対照的に、青果の仲卸は朝3時からフォークリフトを乗りまわし、八百屋やスーパーのバイヤーに頭を下げ、野菜や果物を買ってもらう汗まみれの仕事です。自分の中で「カッコいい仕事・カッコ悪い仕事」と勝手に区別していたのです。

そんなふて腐れた気持ちが顔に出ていたのか、徐々に顧客も離れていきます。「俺の人生こんなもんだ」と卑屈な気持ちのまま、働きがいも感じられず、ただ食いぶちを稼ぐだけの仕事になっていました。

そんなとき、浜松教会の青年部が行っていた法華三部経の研修会へのお誘いをいただきました。正

直、乗り気ではありません。青年部の研修は夜が遅いため、朝が早い私にとっては勘弁してくれというのが正直なところでした。それでも何度か声をかけてもらっているうちに、「少し聞いてみようか」くらいの気持ちになり参加することにしました。そのときは「妙法蓮華経信解品第四」の学びでした。開祖さまの『法華経の新しい解釈』を読み進めていくうちに、ある言葉に目が釘付けになりました。

「まず『卑屈な精神をなげうつ』ということです。『自分などとてもだめだ』と考えることは、自分の仏性を否定することです。したがって、仏を否定することです。仏に対する侮辱です」

この、わずか二行あまりの開祖さまのお言葉に私はショックを受けました。「俺はこんな仕事しかできない」と卑屈に思っていたことを大変恥ずかしく思いました。自分はダメだと思ふことは仏さまや開祖さまを侮辱するくらいに愚かなことだということに気づかされたのです。まさにこの研修は今の私のためにあったんだと、感謝せずにはおられませんでした。

その次の日から、私の仕事に対する姿勢は一変しました。誰よりも早く仕事場に行き、まずは倉庫開けから始まり、お客さんの注文伺いなど、同僚が来る前に仕事の段取りをさせていただきました。自分の生き方に目覚めた瞬間でした。開祖さまのお言葉によって目覚めさせていただいたのです。するとどうでしょう。仕事がとても楽しくなり、イキイキとしてきました。お客さんも次第に増えて、やりがいも増してきました。

この仕事でがんばっていこうと心を決めたちょうどその頃、地元の教会長さんから佼成会の本部奉職のお声がかかり、私は2000年12月から十年間、青年本部と地方教会の教務員を務めさせていただくことになりました。

Spiritual Journey

2010年12月、教会長として沖縄教会にお役をいただきました。沖縄には昔からの土地の信仰であるユタ信仰が根強く残っており、着任してすぐに「おやっ？」と思う出来事がありました。

法座で、ある信者さんが病気のご家族のことを心配され、悩みをお話しされたのです。一所懸命に関わらせていただくと、その方は安心された様子で「今日は法座に入ってよかったです。ユタさんに話してもすっきりしなかったのが、ここで解決しました」と言って、笑顔で帰って行かれました。しかし、私にはユタ信仰と倭成会を天秤にかけているように思えて、すっきりしない気持ちが残りました。

そんな疑問を抱えているとき、会長先生との懇談会に参加する機会をいただきました。会長先生に、「土地の信仰であるユタ信仰が根強く残っている沖縄で、ご本尊勧請を推進していく心構えをご指導いただけますでしょうか」とお伺いしました。すると、会長先生は一言、「教会長さん自身が仏さまをどれだけ尊く拝むことができるかですね」と、私自身の仏さまへの礼拝の姿勢と帰依の心を教えてくださったのです。

私はそのとき、仏さまの存在を大安心の心で受け止めることを教えてくれた、母との幼い頃のエピソードを思い出しました。

子どもの頃、夜になると両親がそろってご供養や手どりに出かけるときがありました。私をはじめ幼い弟や妹は、両親のいない夜の留守番が不安でたまりません。ある晩、そんな心配顔の私たちを御宝前の間に集め、母はこう言いました。「大丈夫だよ。仏さまもいっしょに留守番してくれているからね」この言葉に私たちはどれだけ安心したことでしょう。何かホッとできたことを今も思い出します。

仏さまへの母の揺るぎない帰依心が、子どもだった

私たちに大安心の心として伝わったのだと思います。会長先生のお言葉は、そのときのことを思い起こさせてくださいました。教会長のお役を果たしていくうえで、「仏さまをどれだけ尊く拝むことができるか」——とかく出来事に振り回されがちな心に芯を入れてくださった大事なお言葉として、今も大切にしています。

私は開祖さまのお言葉から「人生、むだなことはひとつもない」と教えていただきました。自分の半生を振り返ると、このお言葉のとおり、自分の体験にむだなものはひとつもなく、すべてが栄養となって、小さいながらも蓮の花を咲かせていただけたと思います。

現在、世界は新型コロナウイルスの感染拡大やロシアのウクライナ侵攻などによって混沌とし、スリランカではインフレが進み経済危機が起きています。今こそ、布教のときです。私は現在我が身を置いているスリランカで布教伝道を進め、平和の教え「法華経」をお伝えして参ります。そして「人を植え、育てる」人材育成を大切にし、一人ひとりが蓮の花を咲かせられるよう善き縁にならせていただきます。

みなさま、本日は誠にありがとうございました。



ボソンボヤデー(スリランカに仏教が伝来したとされる日)にスリランカ教会の皆さんと

まんが 立正佼成会入門

お釈迦さまの生涯と仏教の教え

はじめての説法

お釈迦さまはさつとつた真理を伝えようと、ヴァーラーナシー郊外の鹿野苑という地をおとずれます。そこには、かつていっしょに修行した五人の仲間がいたからでした。

五人は最初、「苦行からにげた者だ」と無視しようとします。しかし、お釈迦さまの光り輝くすがたを見ると自然に頭が下がり、ていねいに迎えていました。さらに教えを聞いて感動し、弟子になるのでした。この時、お釈迦さまが説いたのは「中道」「四諦」「八正道」でした。このはじめての説法を「初転法輪」といいます。



豆知識

最初、お釈迦さまはさつとつた難解な真理を人びとに伝えることをためらったが、迷える人びとを救いたいとの慈悲心から、それを伝えることを決意された。そのおかげで、いまの私たちが教えに出会うことができるのだ。

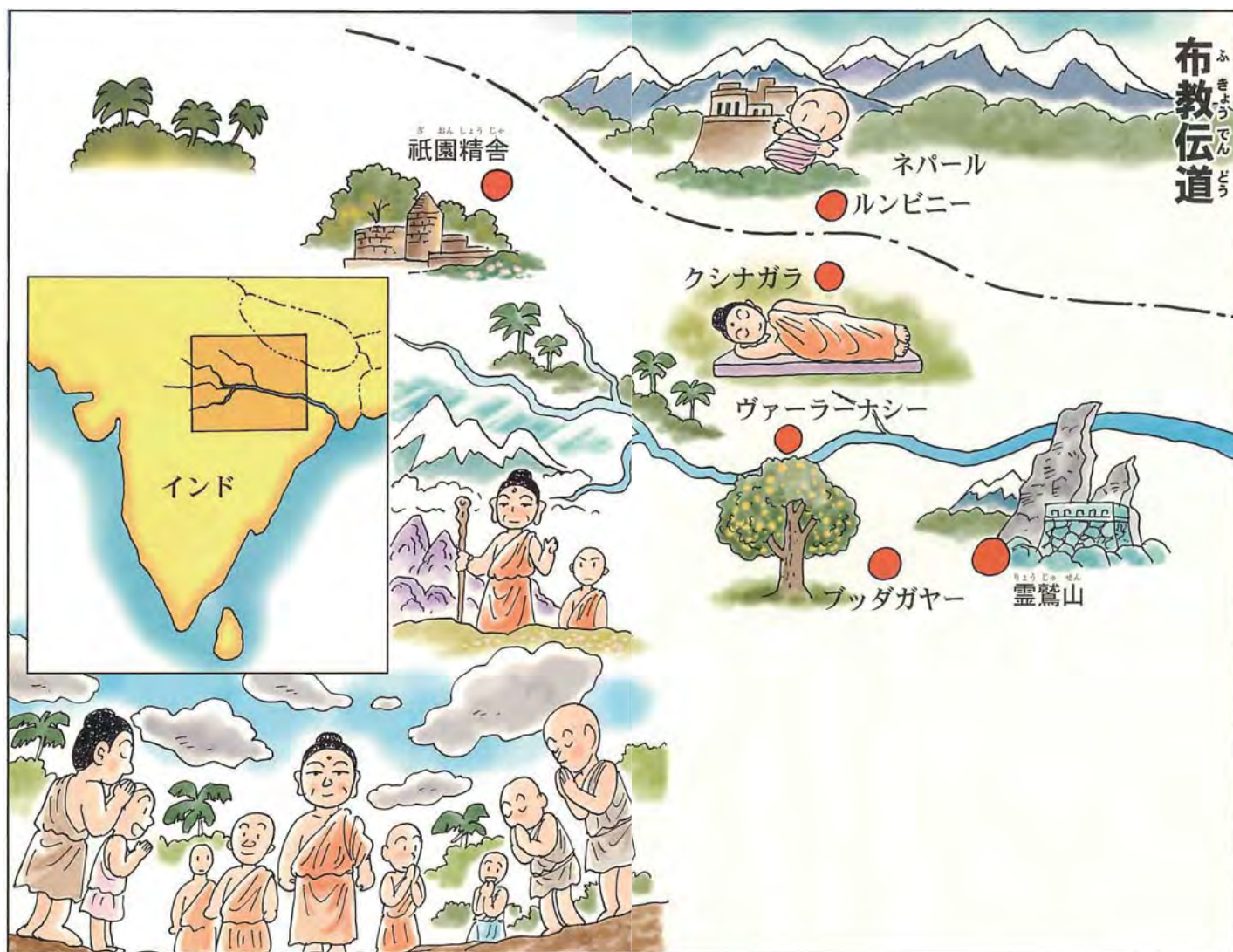
※私的使用を除き、無断で複製・転載をしないでください。



『まんが立正佼成会入門』は、佼成ショップにて好評発売中です。

<https://www.koseishop.com/>

布教伝道



お釈迦さまはさとりを開いてから入滅するまでの45年間、主にインド北東部を歩いてめぐり、教えを説かれました。

その中でも、お釈迦さまゆかりの地は仏教の聖地としていまも残されています。お釈迦さま生誕の地であるルンビニー、さとりを開いたブツダガヤー、はじめて教えを説いたヴァーラーナシー郊外の鹿野苑、入滅の地クシナガラなどがそうです。

そのほか、リョウジノセン 靈鷲山やギオンショウジヤ 祇園精舎なども知られています。

豆知識

祇園精舎は、お釈迦さまにとって弟子たちを指導するための重要な寺院だった。インドでは春から夏にかけての3ヵ月が雨期となるため、修行僧たちは外出を避けて精舎に留まり、集団生活をしながら修行に専念した。

Director's Column

会長先生の菩薩行

国際伝道部長

赤川 恵一

8月になり夏真っ盛りの時期を迎えました。それぞれの国や地域で、サンガの交流を通して力いっぱいご法精進の毎日を送っておられることと拝察します。

法華経は「菩薩」に向けて説かれた教えであります。長期にわたり継続して「六波羅蜜」をテーマにお話くださっているご法話からは、一貫して会長先生の私たちに対する大きな期待、すなわち「ほんものの菩薩に成長してもらいたい」「自他ともに幸せをつかんで調和社会・調和世界の実現に向けて精進してほしい」との願いが伝わってくるのを感じます。

今月のご法話の前半では、私たち一人ひとりの唯一無二の存在意義を宇宙的視座から見極められたかと思うと、後半では一信仰者の現実的で実践的な視点に立たれ、「有り難いこと」に気づき、感謝の気持ちを利他行という生き方に転換していくことの重要性を説いてくださっております。

会長先生から頂く毎月のご法話が、私たちの仏性を信じてくださっている先生独自の仏性礼拝行にも思えてくる最近の私です。皆さまは如何でしょうか？

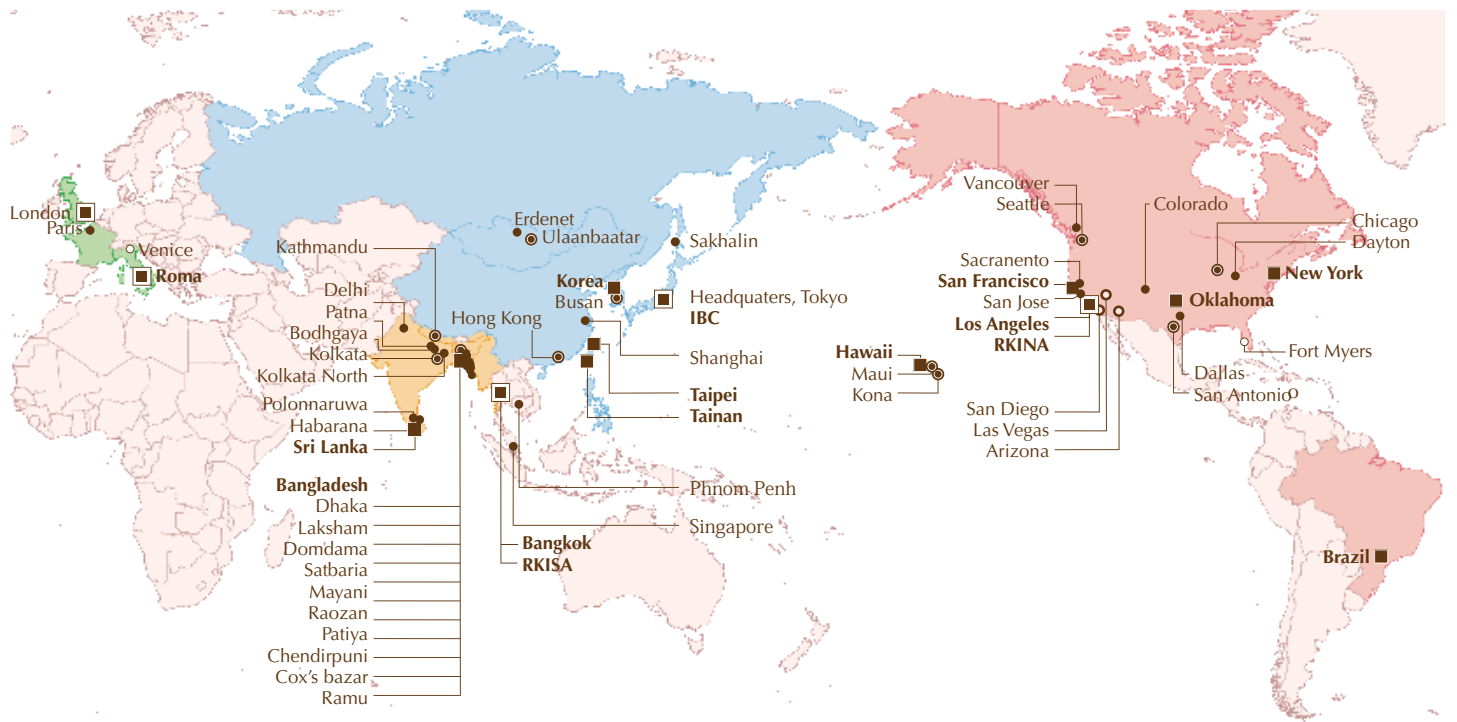


✉ *Living the Lotus* では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
 (Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
 TEL: 1-650-359-6951 Email: lotusbuddhist@gmail.com
 URL: <https://sf-buddhism.org/>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento**
- Rissho Kosei-kai of San Jose**

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
 TEL: 1-212-867-5677 Email: rky39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
 TEL: 1-773-842-5654
 Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
 (Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
 Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567
 Email: info@rkina.org
 URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745
 Email: dharmasanantonio@gmail.com
 URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
 TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
 Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部

Korean Rissho Kosei-kai of Busan
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人 在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rampur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL: 880-2-41360470

Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka North

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

Rissho Kosei-kai Ramu

Rissho Kosei-kai Aburkhill

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai of the UK

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: <https://www.rkuk.org>
Facebook: <https://www.facebook.com/rkuk.official>
Twitter: https://twitter.com/rkuk_official
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk_official

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.abc-rk.org>